

工事説明書

小型湯沸器用防熱カバー

品番 YP0302HM
KHC-K
RU-08BC

工事される方へ

2008年4月以降に製造された開放式小型湯沸器専用

(2008年3月以前に製造された開放式小型湯沸器や、密閉式・半密閉式湯沸器には取り付けないでください。)

- ・既に小型湯沸器が、コンロ直上に取り付けられている状態で、コンロ直上以外への場所へ移設することが困難な場合に限り、防熱カバーを取り付けてください。
- ・各自治体の設置に関する指導がある場合は、指導に従い工事を行ってください。詳細については、各自治体にお問い合わせください。

【製造時期の確認方法】

- ・小型湯沸器正面に貼ってある「特定保守製品」表示ラベルの製造年月^{※1}が2008年4月以降の小型湯沸器の場合、防熱カバーを取り付けることができます。
- ・2008年3月以前に製造された小型湯沸器には取り付けられませんので小型湯沸器を交換してください。
- ・「特定保守製品」表示ラベルが貼られていない小型湯沸器でも銘板に「08S」^{※2}が表示されている場合は、防熱カバーを取り付けることができます。

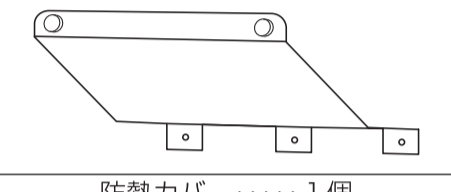
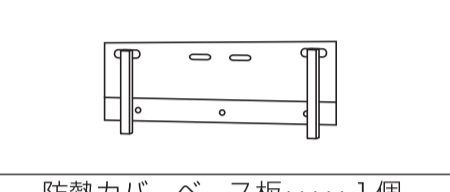


※1

特定保守製品	
特定製造事業者等名	株式会社 ○○○
	○○県○○市○○区○○町…
製造年月	○○○○年○月
製造番号	○○○○-○○○○○○
設計標準使用期間	○○年
点検期間	○○○○年○月～○○○○年○月

※2

都市ガス用	13A 000kW
	00.00-000000
認証登録番号	000000
一般・寒冷地共用仕様製品	
PS	TG
区分名 A エネルギー消費効率○○.○○%	
08S	

■同こん部品の確認

			
防熱カバー……1個	防熱カバーベース板……1個	取付ねじ……3本	取扱説明書(本書)

■取付手順 防熱カバーを取り付ける場合は、一旦小型湯沸器を取り外してください。

1. 小型湯沸器取付用の上部木ねじ(1本)を壁面に取り付ける

コンロ上面から小型湯沸器の下端面までが400mm以上となる位置に小型湯沸器取付用の上部木ねじ(1本)を取り付けてください。

2. 取り付けした上部木ねじ(1本)に湯沸器の上部穴を引っ掛ける

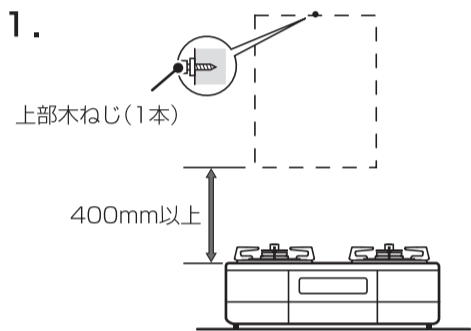
3. 防熱カバーベース板を取り付ける

- ・防熱カバーベース板を小型湯沸器の壁掛け金具(下部)と壁面の間に挟み、落下しないようにテープなどで仮固定してください。
- ※仮固定時、防熱カバーベース板のセンターが小型湯沸器のセンターになるようにしてください。
- ・小型湯沸器取付用の下部木ねじ(2本)で、小型湯沸器と防熱カバーベース板を共締めして固定してください。
- ※小型湯沸器の壁掛け金具(下部)に取付用穴が上下2段ある場合は、必ず下段の穴2カ所で防熱カバーベース板を共締めしてください(イラスト参照)。既設の小型湯沸器が上段に2カ所で固定されている場合は、新たに下段で共締めしてください。
- ・仮固定に使用したテープなどの部材は剥がしてください。

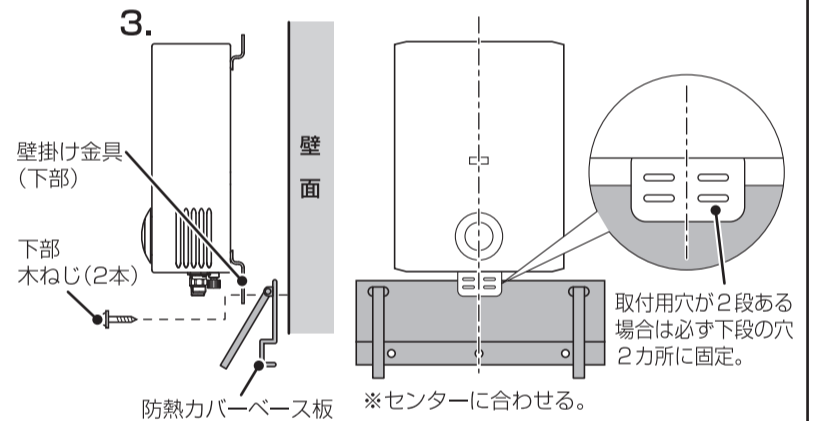
4. 給水配管、ガス配管を行う

- ・給水配管、ガス配管の施工方法は、小型湯沸器の「工事説明書」を参照してください。
- ・給水配管は、金属フレキシ管で接続してください。
- ・ガス配管は、原則として金属可とう管で接続してください。なお、強化ガスホースで接続する場合は、強化ガスホースの表面がコンロから150mm以上離れるようにしてください。
- ※ガス配管はガス事業者毎に運用が異なりますのでガス事業者を確認してください。

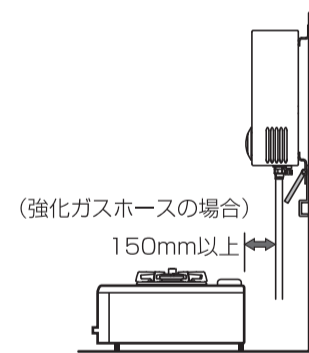
1.



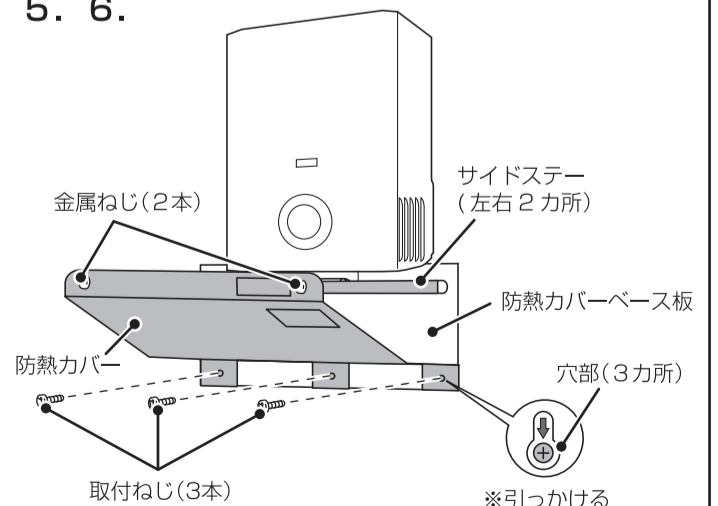
3.



4.



5. 6.



警告

必ず守る ！ ガス配管の接続は、必ずガス供給事業者または、資格を有する設置業者が行う無資格者が行った場合、不備によるガス漏れや火災を引き起こすおそれがあります。

分解禁止 絶対に分解・改造はしない
思わぬ事故の原因になります。

5. 防熱カバーを取り付ける

同こんの取付ねじ(3本)を防熱カバーベース板に仮止めし、防熱カバーの穴部(3カ所)を引っ掛け、防熱カバーベース板に取り付けてください。

6. 防熱カバーの固定

防熱カバー前面固定用の金属ねじ(2本)を防熱カバーベース板のサイドステー(左右2カ所)に締め付けて、固定してください。

■取り付け完了後の確認

- ・防熱カバー・防熱カバーベース板に変形や、ゆがみがないことを確認してください。

■お客さまへの説明

- ・取り付け後、下記注意事項をお客さまに説明してください。

注意

必ず守る ！ コンロ使用中や使用直後は、防熱カバーが高温になっているため、手を触れないやけどのおそれがあります。
お手入れの際はガス栓を閉め、小型湯沸器と防熱カバーが冷えてから手袋をはめて行ってください。

禁止 防熱カバーに雑巾やふきんなどの可燃物を載せたり、引っ掛けたりしない
火災の原因になります。

禁止 防熱カバーに調理道具などを載せたり、引っ掛けたりしない
防熱カバーの変形や火災の原因になります。

禁止 小型湯沸器とコンロを同時に使用しない
小型湯沸器操作時、やけどのおそれがあります。小型湯沸器の安全装置が作動する原因になります。

禁止 防熱カバーに衝撃や荷重を加えない
防熱カバーの変形の原因になります。